

12月 1日～15日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
06/12/01 (金)	東京は弱いCPIの数字を受けて円売り優勢。その後は加入の円安もありドル/円も円が統落へ。 欧米はユーロ独歩高、ユーロ高を示唆する匿名筋の発言が材料視。一方、指標の悪化でドルは全面安。	・10月の消費者物価指数0.1%、同失業率4.1%、05年度実質GDP確報値2.4% ・10月のユーロ圏失業率7.7% ・11月の米ISM製造業指数49.5、10月の建設支出 1.0%	・大田経財相「利上げは日銀が決めること」 ・ECB高官「ユーロの現状水準は懸念せず、ユーロ/ドルの節目は1.50～55ドル」	115.69 116.38 114.97 115.40	153.29 154.11 153.07 153.88	寄付 安値 高値 終値
06/12/04 (月)	東京は再び円安進行、韓国で爆発言との報道に加え渡辺発言が嫌気され、円売りがさむ。 欧米はこの日も欧州要人によるユーロ高容認相次ぎユーロ堅調推移ただ対円では上値も重い。	・韓国の南北境界線近くで爆発言、との一部報道あり ・米著名情報社が「ECB利上げは今回で一段落」とのレポート送信の噂 ・オーストリア米連大使の辞任が決定	・渡辺財務官「円キャリートレードの影響は誇張されている」 ・カール・エルキ「相対ドル安を懸念、OPEC総会で協議する」 ・アルムニア欧州委員会委員「ユーロ相場を警戒する理由なし」	115.24 115.84 115.23 115.27	153.90 154.18 153.61 153.80	寄付 安値 高値 終値
06/12/05 (火)	東京はゴト-日仲値不足思惑などから円安でスタートするも統かず。その後は償還売りなどに押される。 欧米は発表される米経済指標を受けて右往左往。好悪の内容混在でレンジ内ながら荒れ模様。	・日銀総裁と首相が会談、終了後「追加利上げの話は出なかった」 ・第3四半期の米農産物部門労働生産性改定値0.2%、同単位労働コスト改定値2.3%、10月の製造業受注4.7%、ISM非製造業景気指数58.9	・NZ財務相「NZドルは依然高水準」 ・水野日銀審議委員「すべての経済指標が力強くなければ利上げできないわけではない」 ・独財務相「相場は市場に任されるべき」	115.38 115.43 114.43 114.90	153.86 153.87 152.61 153.01	寄付 安値 高値 終値
06/12/06 (水)	東京は予想外とも言える強気の西村発言を受けて円買い優勢。ただ終盤は北朝鮮ファクターが足枷に。 欧米は発表された2つの英経済指標悪化でポンドが急落。一方ドルは米雇用統計改善期待から堅調裡。	・10月景気先行指数50.0% ・11月の米ADP全米雇用統計15.8万人	・西村日銀審議委員「市場と完全に一致しなくても利上げはありうる」 ・一部通信社電「北朝鮮は6ヶ国協議に復帰しない見込み」 ・仏中小企業相「フランスはユーロ高に対応すべき」	114.95 115.31 114.53 115.27	153.08 153.17 152.45 153.15	寄付 安値 高値 終値
06/12/07 (木)	東京は中国人民銀行から発せられたドル下落リスクを嫌気したドル売り進む。115円台から114円台へ軟落。 欧米はECBの利上げ実施また総裁の強気コメントにも関わらずユーロ円安ない。結果ドルも全面高。	・11月外貨準備高8969.49億ドル ・NZが政策金利据え置き、ただ引き上げバイアスのコメントも ・BOEが金利据え置き ・ECB25BPの金利引き上げ ・南アが50BPの金利引上げ	・中国人民銀行「米貿易赤字拡大で米資産離れが起こればドル安進行も」 ・ECB総裁「金融政策は引き続き緩和的」 ・NZ中銀総裁「市場介入の手段を有している」	115.35 115.35 114.76 115.26	153.24 153.28 152.61 153.13	寄付 安値 高値 終値
06/12/08 (金)	東京は発表された2つの日本の指標が悪く円売り優勢。加入でも円は弱含みに推移。 欧米は米財務長官の発言や日銀幹部の発言を材料に円独歩安。一方水準紹介の噂でユーロ荒れ模様。	・第3四半期GDP改定値0.2%、10月の機械受注前月比2.8% ・ECBがレートチェック実施の噂 ・11月の米失業率4.5%、同非農業者雇用数13.2万人、12月のシガン大消費者信頼感指数90.2	・米商務長官「米中貿易摩擦、来年激化する可能性」 ・米財務長官「強いドルは米国の国益に叶う」 ・匿名日銀幹部「12月の利上げは困難」	115.15 116.51 114.90 116.35	152.98 154.04 152.97 153.61	寄付 安値 高値 終値
06/12/11 (月)	東京は大きな材料ないなか日銀の追加利上げ後退思惑から円安進む。とくに加入で円は円安ない。 欧米も円安・ドル高でスタートするもギリンスパン発言を受けて様相一変。利食い売り優勢に。	・10月の米卸売在庫0.8% ・米著名情報社が「日銀12月利上げ見送り」とのレポート送信の噂	・独G8シェール「中国の巨額の外準は問題がある」 ・前FRB議長「米国の国際収支が変化するまでドル安継続見通し」 ・オーストリア中銀総裁「金利は歴史的に最低水準にある」	116.25 117.26 116.24 117.00	153.28 154.88 153.23 154.87	寄付 安値 高値 終値
06/12/12 (火)	東京は夜半のFOMCなどをにらみ手控えムード。目立った動意はほとんどなくレンジ内で一進一退。 欧米はドル高で始まるも弱目のFOMC声明を受けてドル売り優勢に。結局ドルは安値引け。	・12月独ZEW景気期待指数 19.0% ・米FOMCで金利据え置き決定、また声明はややハ派的な内容に ・10月の米貿易赤字 589億ドル、対中 243.7億ドル、対日 32.6億ドル	・スウェーデン財務相「ユーロ高の進行を懸念、いまのところ影響は限定的」	116.78 117.25 116.68 116.78	154.71 155.30 154.55 155.14	寄付 安値 高値 終値
06/12/13 (水)	東京は冬のボーナスシーズンと言うこともあってか加入中心の円売り止まらず。ユーロ/円は年初来高値へ。 欧米は米小売売上高が予想以上の好数字になったことでドル買い優勢に。対円は一時117円後半も。	・10月の経常黒字1兆5146億円、同貿易黒字7562億円、同鉱工業生産確報値1.6% ・ルウェー中銀が25BPの利上げ動意 ・11月の米小売売上高1.0%、10月の米企業在庫0.4%	・独連銀総裁「インフレの明確な上向きリスクがある」	116.72 117.65 116.70 117.58	155.02 155.50 154.95 155.36	寄付 安値 高値 終値
06/12/14 (木)	東京は米財務長官発言で円高に振れるもわの瞬間。その後は再び円安進行。反動安。 欧米は発表された米指標が強い内容でドル買いを後押し。とくに対円での上昇続く。	・米中戦略経済対話(15日も) ・スイス中銀が25BPの利上げ動意 ・12月のNY連銀製造業景気指数23.1(翌日発表予定がシステム問題などで前倒し発表)	・米財務長官「人民元の柔軟性に付いて中国と協議する」 ・渡辺財務官「国内要因で円が安くなる状況にはない」 ・FRB議長「人民元の上昇は中国にとつて有益」	117.42 117.89 117.26 117.83	155.18 155.59 154.75 154.88	寄付 安値 高値 終値
06/12/15 (金)	東京は外貨建て投信の設定やゴト-日仲値不足からドル買い・円売り優勢。一時118円台へ。 欧米は荒れ模様の相場付き。指標や噂で大きな乱高下を繰り返したすえ、最終的にはドル高で越えへ。	・日銀短観大企業製造業DIは25、第3次産業活動指数2.1% ・11月の米CPIは±0.0%、同鉱工業生産0.2%、同設備稼働率81.8%、10月の対米証券投資823億ドルの買い越し	・JTの英たばこ大手キャラハ-買収明らか(97億ポンド) ・米著名情報社が「ユーロ下落を示唆する」レポート送信の噂 ・オーストリア中銀総裁「ECB利上げが終了したと決めるのは間違い」	117.78 118.33 117.45 118.18	154.93 155.50 153.82 154.58	寄付 安値 高値 終値

します。アドレス info@fx-newsletter.com まで